

月経前緊張症には桃核承気湯が抜群

Q 二十八歳、女性。生理痛がひどいのですが、特に生理前になると無性にいらいらし、のぼせ・肩こり・便秘・不眠などの症状が強くなります。この前はとうとう自制できず、母親に物を投げて泣かせてしまいました。こんな症状にいい漢方薬はありますか。

A 婦人科で「月経前緊張症」とよばれる病気である。女性ホルモンの周期的リズムと精神状態が深くかかわっていることはよく知られている。婦人科でホルモン療法、神経科で安定剤投与などを行うが、日中眠くなったり、意欲がなくなったりするなど症状はなかなか改善されないのが実情である。いわゆるヒステリーなどと同一視されることも少なくない。

先日心配そうな顔をした母親に連れられて来院した質問者と同年代の患者の場合、おへその周囲が石でも入っているように硬く、下腹部を押すととても痛がった。このような骨盤内部の血行が悪い所見を漢方では瘀血（おけつ）と呼ぶ。微小循環も含めた血行を良くする漢方薬を処方したところ、年来の月経前緊張症の改善をみた次第である。

質問者もおそらく同様の漢方薬がよいと思われる。便秘ぎみなら桃核承気湯（とうかくじょうきとう）が抜群に効く。「承気」とは、気をめぐらすという意味。生理前以外は桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）という血行を良くする漢方薬や抑肝散（よくかんさん）という自律神経調節薬を服用するとさらに効果的である。